

月刊 葛飾FCニュース

VOL 2 2001 5月号

URL: <http://by3.co.jp/kfc/>

役員紹介

社体葛飾FC立ち上げの時に選出、承認されました役員を改めて御紹介します。

代表 横堀秀一
副代表 金子信夫 野口久美
事務局 大崎雅文 松川京子 大崎有里
金子悦子 石川朋子 横山百合子

青木和代

会計 横堀弘子 吉成潤子 川崎弘美
会計監査 早川智子 北村美千代
指導部 青木繁佳 勝井利恵
渉外部 加藤千明 加藤晴美 加藤悦子

皆さんの意見を活かす窓口です。どうぞよろしくお願いします。



今月の練習試合

5月6日 対 夏見 FC (於 葛飾小グランド)

最近の数試合で気になることがあります。勝ち負けよりも子供達が試合で元気がありません。失敗を恐れずに積極的にプレーをして欲しいと願っています。自分からボールを取りに行く動きが少ないのです。コーチは絶対に試合中や練習中の失敗は叱りません。思い切ったプレーは失敗しても誉めてあげます。練習ではたくさんボールに触れるメニューを考えています。子供達に自信をつけさせることに力を注ぐ方向で指導します。ご家庭で子供さんに試合や練習の前には「元気にプレーしろ、思いきり暴れろ」と声を掛けて送り出してください。特にお父さんの声が子供には力になるでしょう。子供は技術の上手、下手、足の速い、遅いより、真剣にボールを追いかける子の方が将来伸びます。そして、技術は失敗の経験が多いほど身につきます。また、「チームプレー」の大切さも厳しく指導して行きたいと考えています。子供はどうしても自分中心に物事を考えます。また、言動もストレートで自分より技術が劣る子に対して「下手」と口にします。他意はないのですが決してチームにも口にした本人にもプラスになりません。

千葉県内の有力高校チームの監督と話をすることがありそこで面白い話を聞きました。

「高校で伸びる子供の一つの特徴に他者に対する気遣いがある。

自分より能力の低い子に対して文句を言うのではなく指導をしてあげるような子供が成長する。ピンチの時に、チームメイトに声を掛けて引っ張るような子供が周りから信頼される。チームの中で信頼されることが成長の助けになっている。また、小学生時代に選抜等で鳴らした子供が意外と伸びないケースが多い。周囲から常に注目され、ある意味で天狗になっていて周りが見えない。サッカーが上手なだけでは選手として成長しない。教員監督としてはこの辺が面白い。」
熱心な指導者のコメントで子供を指導する上で大変参考になる話でした。

(横堀)



春季5年生大会で感じたこと

5年生大会の具体的な問題点について各コーチの意見を聞いてみたいと思います。

【青木コーチ】

第二試合から見ましたが葛飾の子供たちは、ボールに対してもっと積極的に取りに行く意識がなかったように思いました。相手はレベル的には格下のチームでしたが、中盤からあれよあれよと攻められピンチになるシーンが何度かありました。もっと早くからチェックしていけば、もっと早く動いて適切な場所にいれば、と感じました。選手一人一人が、攻める時、守るときの自分の位置とボールの位置、相手の位置の関係にもっと注意を払わなくてはいけないように感じました。チームとしての戦術というよりも個人個人のボールと自分の位置の認識の問題だと思います。どこへ、いつ、どのタイミングで動いたら良いのかが上手く出来ていないように思いました。遠くのボールに対し自分の位置を動かす(一番良いポジションへ移動する)ことが無いので、今後はどこにボールが来るか予測をしながら、考えながらプレーをしてくれたら良いのになと思えました。

【勝井コーチ】

5年生大会は勝ちあがる事は出来ませんでしたがいりいり問題点が判った試合だったと思います。最終的な目標である6年生大会に向けて頑張りましょう。気がついた事を書いてみました。

1. 各学年の基本的な指導方法をコーチ間で統一する。(1枚の紙にまとめコーチ間の指導方法の意識を統一する。)
2. 各学年(能力に応じた)長期的な練習メニューを作る。
3. 小山先生と相談して朝練のメニューも長期練習メニューに組み込めないか?
4. 特に大会前の小山先生(部活)と社体の練習方法(特にポジショニング)を統一する。

【大崎コーチ】

5年生大会ベンチからのコメントです。素人ですが、誤解を恐れ

今月の寄稿者 横堀秀一氏 勝井総一氏
大崎雅文氏 青木繁佳氏
今月の編集者 事務局 青木和代

ずに言うと、

1. 子供に積極性が無い。第一試合では交替で指名しても出たがらない。

(強い相手と分かっているのでミスをしたくないからか)

2. 試合中に上手な子供達がミスをした子供に怒りすぎる。よってその子供は更に萎縮するというスパイラルが起こる。練習中はお互い指摘するのは良いけど、試合中はお互い誉めるようにもっと指導すべき。

3. 学校での POSITION と当日の POSITION が違い最初困惑していた。(当方のミス)

4. 守備の基本(POSITION, マークの仕方、積極的な当たり等)がまだまだ身に付いてない。

もっと残念なのは走り負けていたこと。一対一及び全体の運動量で。

【指導部より】

指導方法や、学年、能力ごとの年間カリキュラム、これから作っていかなくてはいけないことがたくさんあります。

指導部として、葛飾FCとしての指針をこれから早急にまとめていきますが、練習や指導に対する皆さんの意見をどんどん取り入れたいと思います。

コーチや保護者の皆様からの率直な御意見をお待ちしております。

【編集後記】

今月号はコーチの皆さんの熱心さが紙面いっぱいにあふれ出ていると思います。保護者としては有り難いことです。編集者としては・・・来月号は柔らかい紙面を心掛けます。次回は第一回役員会議事録・大崎コーチのプロフィール・新入部員紹介などを予定しています。お楽しみに